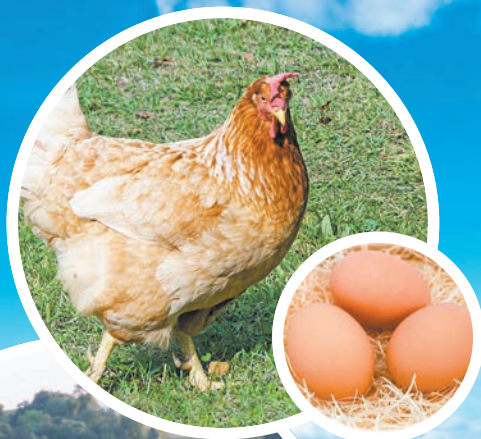


日経アニマルウェルフェア・シンポジウム2023

サステナブル時代の動物快適環境創出に向け、マルチステークホルダーの連携を促進



日時 2023年2月22日(水) 9:30~15:25

主催 日本経済新聞社 イベント・企画ユニット

後援 農林水産省、日本獣医師会、
動物の行動と管理学会、日本畜産学会

協力 ナショナル ジオグラフィック日本版

協賛



健康にアイデアを

meiji

明治アニマルヘルス株式会社



9:30-9:40

来賓あいさつ
農林水産省



犬飼 史郎氏 農林水産省 畜産局畜産振興課長

1966年1月15日生まれ
山梨県出身
北海道大学獣医学部卒
91年農林水産省入省
畜産局を始めとし、農畜産業振興機構北米駐在員事務所主席駐在員、家

畜改良センター企画調整部長、生産局畜産部飼料課長などを歴任。
2015年1月から、OIE（国際獣疫事務局）の動物の健康、アニマルウェルフェア及び獣医公衆衛生に関連した災害対応とリスク低減に関するア

ドホックグループ委員を務めている。現職は畜産局畜産振興課長として、家畜の改良・増殖、畜産環境の保全、家畜遺伝資源の流通の適正管理、アニマルウェルフェアに配慮した飼養管理の普及・推進等を担当。

9:40-10:30

基調講演
「サステナブル時代のアニマルウェルフェア」



新村 毅氏 東京農工大学 農学部 教授

麻布大学獣医学部卒業、同大学院獣医学研究科博士後期課程早期修了。日本学術振興会特別研究員DC1、同PD、基礎生物学研究所特任助教、東京農工大学農学部准教授／卓越研究員を経て現職／創発研究者。日本農

学進歩賞、文部科学大臣表彰若手科学者賞を受賞。
専門分野は、システム行動生物学、動物福祉学。
主な著書に動物福祉学（新村編、昭和堂）、主な出演にNHKクローズアップ

現代+、ダーウィンが来た!、チョコちゃんに叱られる!など。

10:30-11:10

特別講演
「エシカル消費とアニマルウェルフェア」



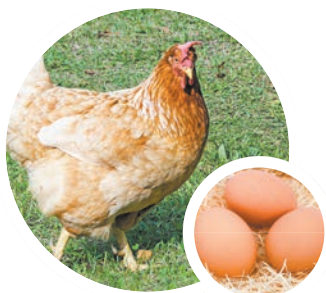
山本 謙治氏 グッドテーブルズ 代表取締役社長、新渡戸文化短期大学 客員教授

農畜産物流通コンサルタント、農と食のジャーナリスト。
北海道大学大学院農学院博士後期課程修了（博士（農学））。民間シンクタンク、青果流通企業を経て、2004年グッドテーブルズを設立。

オンラインメディア「エシカルはおいしい!!」（<https://www.ethicalfood.online>）を運営。著書に『エシカルフード』（KADOKAWA）『炎の牛肉教室!』（講談社）など多数。

11:10-11:20

休憩



11:20 - 12:30

パネルディスカッション

「アニマルウェルフェアのあるべき姿とは、マルチステークホルダーの連携促進のために」

パネリスト



宮澤 隆氏

長野県松本家畜保健衛生所所長、日本獣医師会理事、全国家畜衛生委員会会長

1988年日本大学大学院獣医学研究科卒。2001年、牛海綿状脳症の国内発生を受け、消費者の牛肉に対する信頼回復と牛肉のブランド化を図るため、「農場から食卓へ安心の贈りもの」をキャッチコピーに、長野県内

の流通関係者及び消費者と協働し、「牛肉のトレーサビリティシステム」を確立するとともに全国に広げた。07年、輸入飼料に依存する畜産がいつまで続くだろうか?抗菌性物質の多用による薬剤耐性菌の出現や人の健康

への影響は?そんな不安を背景に「信州の自然と人の健康を未来に紡ぐため」をスローガンに資源循環型畜産と家畜福祉の基準「信州コンフォート畜産認定基準」を制定した。



森田 茂氏

酪農学園大学 農食環境学群循環農学類 教授

1960年6月和歌山県田辺市に生まれる。群馬県北群馬郡にて17歳まで過ごす。85年3月北海道大学大学院修了後、酪農学園大学酪農学部助手として採用される。家畜管理学研究室に所属し、乳牛行動の研究を始める。牛の粗飼料採食活動の行動学

的解析にて博士(農学)を授与される。オランダ農業・環境工学研究所にて、機械開発者とともに自動搾乳機実用化のため、乳牛側からの視点での研究を担当する。研究所内の環境負荷低減や家畜福祉を担当する研究者とも交流する。2004年から酪農

学園大学の教授となり、現在に至る。酪農場での飼養管理改善や労働環境改善により、牛にも人にも地球にも優しい酪農業の推進を目指し、研究を進めている。

山本 謙治氏

土田 拓史氏

MSDアニマルヘルス 代表取締役社長

モデレーター



竹田 謙一氏

信州大学農学部 農学生命科学科 准教授

1995年日本獣医畜産大学畜産学科学卒、2000年東北大学大学院農学研究科博士課程後期修了。博士(農学)の学位取得。00年信州大学農学部助手、助教を経て、08年より現職。この間、山梨県酪農試験場客員研究員、富山県畜産研究所客員研究員を

併任。家畜(肉用牛、乳用牛、繁殖豚、肉用鶏)のアニマルウェルフェア(AW)に対応した飼育システム、評価法の他、省力的放牧技術に関する研究を進めている。また、畜産技術協会の乳用牛の飼養管理指針検討委員会委員、(独)FAMICのISO/

TC34/WG16(AW)有識者グループメンバー、山梨県のやまなしAW認証制度検討会議議長、味の素の「動物との共生」のあり方に関するラウンドテーブル有識者メンバーを務めた。

12:30 - 13:00

休憩

13:00 - 13:45

協賛企業特別講演1

「動物薬企業としてのアニマルウェルフェアへの取り組み」



土田 拓史氏

MSDアニマルヘルス 代表取締役社長

鳥取大学農学部獣医学科卒、獣医師、グロービス経営大学院大学卒、MBA。三菱化成(現三菱化学)総合研究所勤務の後、大手食肉会社において海外(豪州、米国)の養牛、養豚事業

の立ち上げのため海外へ赴任。帰国後、国内預託生産事業にて家畜診療所長として従事。2013年よりMSDアニマルヘルスに入社、20年より現職。

13:45 - 14:15

協賛企業特別講演2

「畜産IoTとアニマルウェルフェア」



菊池 遼介氏 デザミス 経営企画室長 兼 プラットフォーム事業責任者

大手不動産企業・Eコマース企業にてHRを軸としたアドミニストレーション部門を経験。
2020年デザミスに入社、22年より現職。
同社の新規事業企画、アライアンス推進、広報の責任者を担当。

14:15 - 14:25

休憩

14:25 - 15:25

クロージングセッション

「総括と展望」



新村 毅氏



竹田 謙一氏



森田 茂氏



廣瀬 和彦氏 明治アニマルヘルス 代表取締役社長

1991年に北里大学獣医畜産学部（現獣医学部）獣医学科を卒業し、興和に入社。92年に明治製菓（現Meiji Seika ファルマ）に入社し、2022年4月に明治グループ内に設立された動物用医薬品メーカー「明治アニマルヘルス」に移り、現職を務める。

Meiji Seika ファルマでは動物薬に関わる支店長、学術、開発の各部門責任者および動物薬事業の責任者を経て、農業事業をも含む生物産業事業本部長を務める。04年には北里大学にて博士（獣医学）を取得。

社外では、日本動物用医薬品協会理事、日本家畜衛生学会理事、動物用抗菌剤研究会理事等を務める。また、08年より3年間、信州大学大学院農学研究科 機能性食料創製学講座客員教授を兼務。



吉原 洋明氏 インターファーム 代表取締役社長

1985年に日本ハムに入社。以降、ニッポンハムグループの食肉事業に携わり、牛・豚・鶏の全ての畜種において、長きに渡り現場を経験。92年からはニッポンハムグループの鶏事業を担う日本ホワイトファームにて、知床生産部長や札幌事業所長を経て、取締役管理本部長を務めた。

2013年からは食肉処理・加工部門である日本フードパッカーの青森工場取締役工場長、15年に同社取締役管理本部長、16年に日本ホワイトファーム代表取締役社長を務めた。21年から豚事業のインターファーム代表取締役社長、日本フードパッカー代表取締役社長、日本フードパッカー

津軽代表取締役社長を兼務し現在に至る。

モデレーター



宮澤 隆氏